

自然科学部が「日経サイエンス8月号」で紹介されました!!



日経サイエンス誌は、美しい図版とわかりやすい解説で質の高い科学雑誌として多くの読者から高い支持を得ている雑誌です。

高等学校 中学校 小学校

科学教育を通じてつくる、発展するチカラ 8

生態系に悪影響を及ぼすアルゼンチンアリの防除法

侵入者「アルゼンチンアリ」を追え!!

研究発表で受賞 積極性芽生える

岐阜県の山間部にある八百津町唯一の高校が、八百津高等学校だ。昨年末、中高生の研究者が集まる「サイエンスキャッスル2016関西大会」で、同校自然科学部の研究発表が最優秀賞を受賞した。受賞したテーマは「アルゼンチンアリの研究」。

八百津高等学校は、“一人一人が大切にされ、自分を変えられることができる学校”をキャッチフレーズに、地域に根づいた学校づくりに励んでいる。「本校の生徒は、一見するとおとなしい印象がありますが、部活を通じて生徒は変わります。自分の長所を生かした努力を積み重ね、もっと知りたいという欲を持ち、また次へと進みます」と実施担当者の貝川実習教諭は語る。

自然科学部のメンバー

岐阜県立八百津高等学校

各地でアルゼンチンアリを採集

教室に持ち帰り研究

●実施担当
貝川友子 実習教諭

●活動のモットー
生徒が自ら興味を持った瞬間を大切に、それを伸ばすような指導を心がけている。活動で得た達成感をその後の人生の力にしてほしいと考えている。

●少人数授業の徹底と、地域とのふれあいを重視した教育を行う。大学進学希望者向けのカレッジコースと普通コースがある。

●設立:1943年
●生徒数:348人
●所在地:岐阜県加茂郡八百津町伊岐津志 2803-6

アルゼンチンアリの行動を調べ、防除法を研究

●特定外来種であるアルゼンチンアリは繁殖力が強く、駆除は喫緊の課題だ。そこで、近隣の加茂高等学校の自然科学部と共同で、分布調査や行動学的研究、また合成道しるべフェロモンを使った防除法の研究を進めている。

●この研究は、県内への侵入確認をきっかけに、2008年加茂高校がはじめた。現在3年生で八百津高校自然科学部長を務める水野珠那さんは、「兄の影響でアリに興味を持ちました。アリの研究は面白い」と語る。加茂高校在学時からアリの調査をしていた水野さんの兄は、今では大学院でアリの研究に取り組んでおり、海外に在住している。

●アルゼンチンアリの研究は八百津高校と加茂高校の自然科学部で取り組み、論文指導、作成も共同で行っている。8月に宮城県で行われる全国高等学校総合文化祭でも、研究発表をする予定だ。(平成28年度プログラム助成)

この活動は、中谷医工計測技術振興財団の「科学教育振興助成」により行われています。

公益財団法人 中谷医工計測技術振興財団 〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目2番2号 アートヴィレッジ大崎 セントラルタワー8階
シスメックス株式会社創立者の故・中谷太郎氏が私財を投じて設立。医工計測技術分野の発展を願い、「中谷賞」をはじめ各種研究助成、若手研究者支援や国際交流事業を展開。さらに、すそ野拡大のため、科学教育振興活動などに対し、確立した助成事業を行っています。

中谷財団 検索